

# VMware Horizon

Q：VMware Horizon について教えてください

A：VMware Horizon® は、任意のクラウドから Windows サービスやオンライン サービスを提供するために設計された、デスクトップおよびアプリケーション仮想化ソリューションの製品群です。Horizon では、データセンターからデバイスまで仮想化技術を適用することで、優れたユーザー使用環境、クローズドループ型の管理、およびハイブリッド クラウドの柔軟性を備えたデスクトップとアプリケーションを提供できるようになります。

VMware Horizon は、用途に合わせて 3 つのソリューションをご用意しています。データセンターから仮想デスクトップやアプリケーションを実行する場合は VMware Horizon 6、データセンターの外部から、クラウド ホスト型サービスとして仮想デスクトップやアプリケーションを提供する場合は VMware Horizon® Air™、コンテナ化された仮想デスクトップをローカルで実行する場合は VMware Horizon FLEX™ をご検討ください。

## VMware Horizon 6

Q：Horizon 6 について教えてください

A：Horizon 6 により、IT 部門は、単一のプラットフォームから仮想 / RDS ホスト型デスクトップ、または仮想 / RDS ホスト型アプリケーションをエンド ユーザーに提供可能です。これらのデスクトップや、RDS ホスト型アプリケーション、VMware ThinApp® を使用した仮想アプリケーション、SaaS アプリケーション、Citrix 社の提供する仮想アプリケーションを含むアプリケーション サービスには、単一の統合ワークスペースからアクセスできます。これにより、ユーザーが望むスピードとビジネスに必要な効率性を満たしながら、エンド ユーザーが必要とするすべてのリソースを提供できます。Horizon 6 には、次の 3 種類のエディションがあります。

- Horizon View Standard：シンプルで強力かつ操作性に優れた仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境をユーザーに提供
- Horizon Advanced：統合ワークスペースを通じて、デスクトップとアプリケーションを費用対効果に優れた方法で提供
- Horizon Enterprise：クラウドの自動化と管理を伴うデスクトップおよびアプリケーションの提供

Q：Horizon 6 の主な機能について教えてください

A：Horizon 6 は、仮想デスクトップおよびアプリケーション仮想化の機能を拡張することで、優れた運用効率を低コストで実現しながら、ワークスペース モビリティをサポートします。

## Horizon 6 の主な機能

### デスクトップおよびアプリケーションを単一のプラットフォームで提供

単一のプラットフォームを通じて仮想 / リモート デスクトップおよび仮想 / リモート アプリケーションを提供することで、管理を効率化し、エンド ユーザー権限を容易に設定できます。またデバイスや場所を問わず、Windows デスクトップおよびアプリケーションをエンド ユーザーに迅速に提供します。

Horizon 6 では、Microsoft Remote Desktop Services (RDS) を利用する Windows Server インスタンスからのホスト型 Windows アプリケーションや共有デスクトップ セッション、仮想デスクトップ、および ThinApp による仮想アプリケーションを単一のプラットフォームから提供可能です。

Horizon 6 は、RHEL、Ubuntu、CentOS、NeoKylin などのオペレーティング システムを搭載した Linux ベースのデスクトップと、Windows の両方をサポートしています。

### 統合ワークスペースを介したセキュアなアクセス

Horizon 6 では、統合ワークスペースからデスクトップやアプリケーションに簡単かつ安全にアクセスできます。これには、RDS ホスト型アプリケーション、VMware ThinApp でパッケージングされたアプリケーション、SaaS アプリケーションのほか、Citrix 製品で仮想化されたアプリケーションも含まれます。IT 部門は、非常に厳しい規制に基づいてデスクトップやアプリケーションを保護できるほか、Active Directory や LDAP など、複数の ID ソースの管理を効率化して、ユーザーアクセスを効率的に管理できます。エンド ユーザーは、統合ワークスペースの Web アプリケーション ポータルから、シングルサインオン (SSO) で AirWatch® Content Locker™ にログインできます。また、AirWatch Mobile Device Management も使用している場合は、各自のデバイスを登録することも可能です。

Horizon 6 は次の機能をサポートしています。

- 認証されたトラフィックのみがコンピューティング サービスにアクセスできる、シームレスでセキュアなアクセスの提供
- 複数の ID ソースにまたがる効率的な ID 管理。エンド ユーザーは単一の統合ワークスペースを介して、状況に応じてリソースにアクセスでき、アクセスをカスタマイズすることも可能
- 迅速なエンド ユーザー アクセスと、2 要素認証、スマート カード認証、および指紋での生体認証機能によるリアルタイムでのアクセス検証
- FIPS 140-2 標準を利用した、すべての暗号が一般的な基準を満たしているかの確認

## 操作性に優れたユーザー環境

Horizon 6 では、Blast Performance 機能を使用した統合ワークスペースを通じて、デスクトップおよびアプリケーションをエンド ユーザーに提供できます。これにより、デバイス、場所、メディア、および接続方法を問わず一貫した使用環境を実現します。

統合ワークスペースを通して提供および利用できるアプリケーション

- XenApp 5.0 以降
- Windows Server 2008 以降向けの Microsoft RDS ホスト型のアプリケーションおよびデスクトップ
- SaaS アプリケーション
- ThinApp 5.0 以降
- DaaS のデスクトップおよびアプリケーション

## Blast Performance に含まれる機能

- **Blast Adaptive UX** : WAN と LAN を通じての HTML ブラウザ経由、または専用のデスクトップ プロトコルである PCoIP を使用したアクセスの最適化
- **Blast Multimedia** : 高性能のマルチメディア ストリーミングにより優れたユーザー環境を実現
- **Blast 3D** : 仮想デスクトップと RDS ホスト型アプリケーションの両方にワークステーション レベルのパフォーマンスを提供する、充実した仮想グラフィックス機能
- **Blast Live Communications** : 完全に最適化されたユニファイド コミュニケーション機能や、リアルタイムのオーディオおよびビデオのサポート。Horizon 6 は、Windows 10 の Skype for Business で、アプリケーションやデスクトップの使用もサポート
- **Blast Unity Touch** : デバイスを問わず状況に合わせ直感的に使用できるユーザー環境を提供。これにより、Windows をモバイル デバイスで容易に実行することが可能
- **Blast Local Access** : USB や周辺機器など、ローカルのデバイスやドライブへのアクセス
- **Horizon Clients for Blast** : デバイスの種類や場所を問わず、一貫した最高の使用環境を実現する統合クライアント

## 包括的な Workspace Environment Management ソリューション

Horizon 6 は、IT 部門によるユーザーのコンピューティングリソースの確実な管理、監視、および保護を支援します。

Horizon 6 に含まれる新機能は次のとおりです。

リアルタイムでのアプリケーションの配布および管理

- アプリケーションの容易なパッケージングによる、互換性の問題の回避
- 大規模な環境でアプリケーションを即座にプロビジョニング

- ユーザーが各自のデスクトップにログインしている場合にも、アプリケーションをユーザー、グループ、またはデバイスに動的に関連付け
- アプリケーションをリアルタイムでプロビジョニング、配布、アップデート、および削除

ユーザー環境の管理

VMware User Environment Manager™ は、あらゆる仮想環境、物理環境、およびクラウド ベースの環境全体に、カスタマイズと動的なポリシー設定機能を提供します。

- 既存のインフラストラクチャを利用する、単一の拡張可能なソリューションを提供することで、エンド ユーザーのプロファイル管理を簡素化
- エンド ユーザーに Windows のワークスペースやアプリケーションへの迅速なアクセスと、デバイスや場所を問わず一貫したカスタムの使用環境を提供

イメージ管理

- デスクトップおよびアプリケーションのプロビジョニングと、View を通じた権限付与のサポート
- Mirage は統合イメージ管理をサポートするため、複数の仮想データセンターにわたって、物理マシンおよびフル クローンの仮想マシンを効率的に管理
- View Composer でリンク クローンを使用してデスクトップまたは RDSH ファーム全体をアップデート
- RDSH サーバの使用率の最適化をサポートすると同時に優れたユーザー環境を実現
- 規模の大きい分散したインフラストラクチャの構築と、仮想デスクトップ、RDS ホスト型アプリケーション、および地理的に分散したデスクトップへの容易なアクセスを実現

分析および自動化

- VMware vRealize™ Operations for Horizon® を使用したクラウド分析により、Horizon のデスクトップおよびアプリケーション環境に加え、Citrix XenApp 6.5 環境の全体にわたる包括的な視認性を提供。IT 部門はデスクトップ サービスやアプリケーション サービスの健全性とパフォーマンスの最適化が可能

オーケストレーションとセルフ サービス機能

- vCenter™ Server によって、デスクトップのワークロードを統合管理するためのプラットフォームの提供
- VMware vRealize Orchestrator™ のプラグインを通じて VMware vRealize Automation™ を活用し、デスクトップとアプリケーションのプロビジョニングの自動化が可能

## Software-Defined Data Center に対する最適化

- Horizon 6 では、仮想コンピューティング、仮想ストレージ、および仮想ネットワークの仮想化機能とセキュリティ機能を拡張することで、コスト削減、ユーザー環境の向上、およびより優れたビジネス俊敏性を提供します。
- SE Sparse、vStorage APIs for Array Integration (VAAI)、Storage Acceleration などの VMware vSphere® が提供するストレージ最適化機能を利用でき、優れた使用環境をユーザーに提供しながら、ストレージコストを削減できます。
- Horizon 6 を VMware Virtual SAN™ と連携させることで、ストレージのプロビジョニングを自動化し、直接接続型ストレージリソースを活用して、デスクトップワークロードにかかるストレージコストを削減できます。Virtual SAN をサポートしており、オールフラッシュおよび拡張クラスタの機能を使用できるため、分散環境内でより多くのエンドユーザーを、少ないコストでサポートできます。
- Horizon 6 を VMware Virtual Volumes™ と連携させることで、NAS および SAN のストレージ管理とポリシー設定が簡素化されます。また、ブロックストレージや NFS に View Composer Array Integration (VCAI) のメリットを提供し、オフロードにかかる時間を短縮して、より充実した SLA を提供し、パフォーマンスを向上させることができます。
- VMware EVO:RAIL™ を Horizon と連携し、Virtual SAN と SDDC を活用することで、物理デスクトップを費用対効果に優れた方法で、ハイパーコンバージド アプライアンスを使用する安全な仮想ワークスペースにすばやく変換できます。ハイパーコンバージド アプライアンスは、一貫した優れたパフォーマンスを提供し、購入、展開、管理、および拡張が容易です。
- VMware NSX™ を Horizon 環境に導入することで、デバイスや場所を問わずエンドユーザーに動的にセキュリティポリシーを適用しながら、迅速かつシンプルな仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) のネットワークを実装することが可能です。

Q： Horizon 6 の 3 つのエディションの内容を教えてください

A： Horizon 6 View Standard、Horizon 6 Advanced、および Horizon 6 Enterprise には、次のコンポーネントや機能が含まれます。

機能	Horizon View Standard	Horizon Advanced	Horizon Enterprise
<b>デスクトップとアプリケーション</b>			
Windows 仮想デスクトップとセッションベースのデスクトップ	●	●	●
Linux デスクトップ			●
統合ワークスペース：XenApp、RDSH、SaaS、ThinApp		●	●
アプリケーションの配布 (RDSH)		●	●
仮想アプリケーション (ThinApp)	●	●	●
Blast Performance (3D グラフィック、ユニファイド コミュニケーション、マルチメディア リダイレクトなど)	●	●	●
<b>管理</b>			
<b>イメージ管理</b>			
物理デスクトップのイメージ管理 (VMware Mirage™ および VMware ThinApp)		●	●
<b>アプリケーション管理</b>			
リアルタイムでのアプリケーションの配布 (App Volumes)			●
<b>ユーザー環境の管理</b>			
ユーザー プロファイルおよびポリシーの管理			●
<b>クラウドの自動化</b>			
クラウドの自動化とセルフサービス (Orchestrator + デスクトップ プラグイン)			●
<b>クラウド分析と運用管理</b>			
運用ダッシュボード：健全性の監視とパフォーマンス分析 (vRealize Operations for Horizon)			●
キャパシティ管理：プランニングと最適化 (vRealize Operations for Horizon)			●
<b>インフラストラクチャ</b>			
<b>ストレージ</b>			
仮想ストレージ (Virtual SAN オールフラッシュ)		●	●
<b>デスクトップ インフラストラクチャ</b>			
クラウド インフラストラクチャ (VMware vSphere® Desktop および vCenter Desktop)	●	●	●

表 1： Horizon 6 の各エディションの機能

Q：VMware Horizon (with View) (旧称 Horizon View) はどうなるのですか

A：VMware Horizon® (with View™) は現在も、単体製品の Horizon View Standard Edition として同時接続単位でご購入いただけます。ユーザーに優れた使用環境を提供する、シンプルで強力なデスクトップ仮想化ソリューションをお探しの場合は、Horizon View Standard Edition をご検討ください。仮想デスクトップ インフラストラクチャを超えて Horizon (with View) のメリットを拡張し、エンド ユーザーが 1 つの場所からすべてのデスクトップやアプリケーションに安全にアクセスできるようにするには、Horizon Advanced Edition が最適です。デスクトップやアプリケーションの提供だけでなく、クラウドの管理、自動化、およびオーケストレーションのメリットもお求めであれば、Horizon Enterprise Edition をご購入ください。

Q：Horizon Enterprise Edition は View Enterprise Edition と同じですか

A：いいえ。Horizon Enterprise Edition は、Horizon のポートフォリオにおける最も包括的なソリューションです。View Enterprise Edition は、2013 年に提供終了 (EOA) しました。有効なサポートおよびサブスクリプション (SnS) をお持ちの View Enterprise Edition のお客様には、引き続きサポートが提供されます。また、新しい Horizon の任意のエディションにアップグレードすることも可能です。

Q：Horizon Enterprise と VMware Horizon Suite の違いについて教えてください

A：Horizon Enterprise には、ファイル共有のサポートを除くすべての VMware Horizon Suite の機能が含まれます。ただし、Horizon Enterprise には、Horizon Suite に含まれていない機能も含まれています。たとえば、ホスト型 RDS アプリケーションやデスクトップのサポート、App Volumes によるリアルタイムでのアプリケーションの配布、Virtual SAN、クラウドオーケストレーションのプラグインなどです。

Q：統合ワークスペースについて教えてください

A：統合ワークスペースとは、エンド ユーザーが、各自のデスクトップ、アプリケーション、およびオンライン サービスに安全にアクセスするためのポータル画面です。Microsoft Windows Remote Desktop Services によって提供されるアプリケーションやデスクトップ、XenApp 5.0 以降、ThinApp、SaaS での各アプリケーション、および Horizon (with View) の仮想デスクトップへのアクセスに対応しています。統合ワークスペースによって、IT 部門は、レポート、アクセス ポリシー、および展開をバック エンドで統合管理できます。統合ワークスペースは、Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition でサポートされています。

Q：Blast Performance について教えてください

A：Blast Performance は、Horizon 6 に含まれる包括的なテクノロジー セットです。デバイス、場所、メディア、接続方法を問わず、エンド ユーザーに常に優れた操作性を提供します。Blast Performance には、次の機能が含まれます。

- **Blast Adaptive UX**：WAN と LAN を通じての HTML ブラウザ経由、または専用のデスクトップ プロトコルである PCoIP を使用したアクセスの最適化
- **Blast Multimedia**：高性能のマルチメディア ストリーミングにより優れたユーザー環境を実現
- **Blast 3D**：ワークステーション レベルのパフォーマンスを提供する充実した仮想グラフィックス機能を提供
- **Blast Live Communications**：完全に最適化されたユニファイド コミュニケーション機能や、リアルタイムのオーディオおよびビデオのサポート。Horizon 6 は、Windows 8 上での Skype for Business の使用をサポート
- **Blast Unity Touch**：デバイスを問わず、状況に合わせて直感的に使用できるユーザー環境を提供。これにより、Windows をモバイル デバイスで容易に操作することが可能
- **Blast Local Access**：USB や周辺機器などのローカル デバイスへのアクセス
- **Horizon Clients for Blast**：デバイスの種類や場所を問わず、一貫した最高の使用環境を実現する統合クライアント

Q：3D 対応と記載されていますが、現在、Horizon は NVIDIA vGPU をサポートしていますか

A：VMware Horizon は NVIDIA GRID vGPU をサポートしており、仮想デスクトップや RDS ホスト型アプリケーションを介して、リアルな 3D グラフィックスをクラウドから安全に提供できます。デバイスや場所を問わずに容易にアクセス可能で、コストの削減や最適化が可能です。

Q：RDS ホスト型のアプリケーションとセッション ベースのデスクトップに対応するために Horizon 6 で拡張された最新機能にはどのようなものがありますか

A：VMware は、RDS ホスト型のアプリケーションおよびデスクトップ向けに、印刷、USB フラッシュ ドライブ、イメージング デバイスやスキャナ、HTML アクセス、Google Chrome クライアント、マルチメディア リダイレクト、ファイルの関連付け、Skype for Business (Lync 2013) のサポート、NVIDIA GRID vGPU のサポートなど、多くの新機能を発表しました。

また、リンク クローンを使用した RDS ホスト型アプリケーションのサポートも発表しました。これにより、IT 部門は RDSH サーバファームを迅速にアップデートでき、RDSH のロードバランシング サポートを活用して、優れたユーザー使用環境を維持しながら、サーバの使用率を最適化できます。さらに、Cloud Pod アーキテクチャでホスト型アプリケーションもサポートします。規模の大きい分散したインフラストラクチャの構築と、遠隔地からの RDS ホスト型アプリケーションおよびデスクトップへの容易なアクセスが可能です。

**Q：** Horizon は、Windows オペレーティング システムに加えて Linux オペレーティング システムにも対応していますか

**A：** はい。Horizon Enterprise は、Linux (RHEL、Ubuntu、CentOS、および NeoKylin) と Windows の両方をサポートします。

**Q：** Workspace Environment Management について教えてください

**A：** Workspace Environment Management には、Horizon で利用できる主要な管理と自動化の機能が含まれます。これらの機能は、ユーザーのコンピューティング リソースを統合、制御、調整、および保護し、VMware App Volumes、VMware Mirage、VMware User Environment Manager™、vRealize Operations for Horizon、vCenter Server、および vRealize Orchestrator™ と vRealize Automation 向けのプラグインを利用します。

**Q：** 物理マシンのイメージ管理について教えてください

**A：** 物理マシンと仮想マシンのイメージ管理には Mirage を利用します。Mirage の機能により、IT 部門は、エンド ユーザーが使用しているすべての物理エンドポイントにイメージを容易に展開できます。この機能は Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition に含まれます。

**Q：** VMware App Volumes について教えてください

**A：** VMware App Volumes は、仮想デスクトップ環境へリアルタイムでアプリケーションを配布します。IT 部門は、Horizon 6 と App Volumes を使用してアプリケーションをリアルタイムで配布するシステムを構築し、すべてのアプリケーションを統合管理できます。アプリケーションは、仮想マシンやアプリケーション自体に修正を加えずに、VMDK 仮想ディスクを通じて仮想デスクトップに配布されます。また、エンド ユーザーの使用環境に影響を及ぼさずに、低コストかつ優れたパフォーマンスの仮想デスクトップにスケールアウトできます。

**Q：** User Environment Manager について教えてください

**A：** VMware User Environment Manager は、任意の仮想環境、物理環境、およびクラウド ベースの環境全体で、カスタマイズと動的なポリシー設定の機能を提供します。また、既存のインフラストラクチャを利用して拡張可能な単一のソリューションを提供することで、エンド ユーザーのプロファイル管理を簡素化できるほか、インフラストラクチャをマッピングし (ネットワークとプリンタのマッピングを含む)、エンド ユーザーのポリシーを動的に設定できるので、より多くのユースケースを安全にサポートすることも可能です。このソリューションによって、エンド ユーザーは Windows のワークスペースやアプリケーションに迅速にアクセスでき、ユーザー環境はデバイスや場所を問わずカスタマイズが可能で、一貫性も維持されます。

**Q：** クラウド分析と運用管理機能について教えてください

**A：** VMware vRealize Operations for Horizon には、仮想デスクトップやアプリケーションの環境を対象としたクラウド分析と運用管理の機能があります。これらの機能を使用して、デスクトップ サービスやアプリケーション サービスの健全性、可用性、パフォーマンス、および効率性を最適化できます。vRealize Operations for Horizon は Horizon Enterprise Edition に含まれており、Citrix XenApp 6.5 環境もサポートします。

**Q：** クラウド オーケストレーションについて教えてください

**A：** Orchestrator によるクラウド オーケストレーションによって、IT 部門は、VMware vRealize Automation にプラグインして、デスクトップのプロビジョニングの自動化や、チャージバック (課金) およびショーバック (コストの提示) の機能を使用し、デスクトップやインフラストラクチャの使用状況をより明確に把握できるようになります。この機能は Horizon Enterprise Edition に含まれます。

**Q：** Cloud Pod アーキテクチャについて教えてください

**A：** Cloud Pod アーキテクチャを使用すると、Horizon View Pod および RDSH Pod を複数のデータセンター間で動的に移動および特定できるため、分散環境内のエンド ユーザーを効率的に管理できます。この機能は Horizon のすべてのエディションに含まれます。

**Q：** VMware Virtual SAN について教えてください

**A：** VMware Virtual SAN は、Software-Defined Storage レイヤーで、コンピューティング リソースや直接接続型ストレージ リソースをプールし、サーバに搭載されているディスクやフラッシュをクラスタ化することで、耐障害性に優れた共有ストレージを作成します。Virtual SAN は、低コストのストレージを提供し、エンド ユーザーが使用する各デスクトップが十分な IOPS を確保できるようにストレージを過剰にプロビジョニングする必要をなくします。Horizon を使用して管理することで、ストレージのプロビジョニングをさらに簡素化できます。Virtual SAN は、オール フラッシュと拡張クラスタもサポートしており、Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition に含まれます。

**Q：** NSX for Horizon について教えてください。この製品は Horizon のエディションに含まれていますか

**A：** NSX for Horizon は、ネットワーク セキュリティ ポリシーをエンド ユーザーに迅速かつ容易に設定する方法を検討中のお客様を対象とする単体製品です。ポリシーはデバイスや場所を問わず適用され、基盤となる物理インフラストラクチャに対する変更の影響を受けません。NSX for Horizon は、Horizon のどのエディションにも含まれていません。



**Q：SysTrack Desktop Assessment について教えてください**

A：SysTrack Desktop Assessment (SDA) は無償で提供されるセルフサービスのプラットフォームで、エンドユーザーの環境、インフラストラクチャ、およびアプリケーションに対する包括的な視認性を提供します。また、ユーザー区分に基づいて推奨されるソリューションを提示し、最適な VMware 製品および Horizon 製品の導入を支援します。

**Q：Project Enzo とは何ですか**

A：Project Enzo は、クラウド規模の新しいアーキテクチャです。クラウドベースの管理機能、インテリジェントなオーケストレーション、およびハイパーコンバージドインフラストラクチャを利用して、仮想デスクトップおよびアプリケーションの提供方法を大きく変革します。これにより、デスクトップとアプリケーションを、プライベートクラウド、パブリッククラウド、またはその両方の間で、費用対効果に優れたシンプルな方法で展開、拡張、および移動できます。Project Enzo はまだ提供を開始していませんが、デスクトップおよびアプリケーション仮想化製品である Horizon 製品群のコンポーネントになる予定です。

**Q：VMware Horizon 6 の購入方法について教えてください**

A：VMware Horizon 6 は、VMware 認定リセラーからご購入いただけます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/horizon-view/>

**Q：Horizon の旧バージョン (VMware Horizon View など) を使用している場合は、どうすればよいですか**

A：有効な VMware のサポートおよびサブスクリプション (SnS) 契約を締結しているお客様は、Horizon View Standard Edition へ無償でアップグレードすることができます。現在 SnS 契約を結んでおらず、再契約を希望される場合は、<https://www.vmware.com/jp/support/contacts.html> を参照してください。

## Horizon 6 のライセンス

**Q：Horizon 6 のライセンスについて教えてください**

A：Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition には、次の 2 種類のライセンスモデルがあります。

- 指定ユーザー単位 (NU) のライセンス：仮想環境において、従業員が終日特定の仮想マシンにアクセスする環境に適しています。
- 同時接続単位 (CCU) の無期限ライセンス：仮想環境において、アルバイトやシフト勤務の従業員など、終日多数のユーザーがマシンを共有する環境に適しています。同時接続単位は、パワーオン状態の仮想マシンに接続している仮想デスクトップセッションを指します。この場合、企業や組織がライセンスの所有者となります。

**注：**Horizon View Standard Edition は、同時接続単位のライセンスのみをご購入いただけます。

バンドル内のコンポーネントを複数のユーザーに振り分けることはできません。これは、指定ユーザー単位の場合と、同時接続単位の場合の両方に当てはまります。個別のコンポーネントはありますが、それらすべてを含めて単一の製品とみなします。たとえば、同時接続単位のライセンスモデルで、エンドユーザーが View のみに接続している場合、バンドル内のほかの関連コンポーネント (VMware Identity Manager™ や Mirage など) も、このユーザーに割り当てられているとみなされ、ほかのユーザーに権限を付与することはできません。

**例：**

組織 A が Horizon Enterprise Edition の同時接続単位のライセンスを 100 個保有しているとします。ユーザー A が仮想デスクトップに接続し、同時接続ライセンスを 1 つ利用します。ユーザー A は Mirage を使用していません。この場合、別のユーザーが Mirage を使用することはできません。ユーザー A がバンドル内のすべてのコンポーネントに接続していなかったとしても、バンドル内の 1 つのコンポーネントに接続した時点で、セッションが接続されている間は、ほかのコンポーネントもデフォルトでそのユーザーに割り当てられます。

### 指定ユーザー (NU) と同時接続ユーザー (CCU) の使い分け

主に使用するのが View であり、エンドユーザーがシフト制でデスクトップにアクセスする場合 (たとえば、日中に 200 人、夜間に 200 人がアクセスするが、400 人全員が同時にアクセスすることはない場合)、かつ 200 個を超える Mirage または Identity Manager のインスタンスが同時に必要になることが予測されない場合は、Horizon の CCU ライセンスを 200 個購入されることを推奨します。

主に使用するのが View であり、ユーザーがシフト勤務ではない場合 (たとえば、400 人の従業員全員が同時に接続する場合は、NU ライセンスが適しています。この場合、400 人の従業員全員に Mirage および Identity Manager の利用権限を付与できます。

主に使用するのが View であり、シフト勤務の従業員が日中に 200 人、夜間に 200 人いて、加えてシフト勤務ではない従業員 50 人が Mirage を必要としている場合は、Horizon の CCU ライセンスを 200 個と Mirage の単体ライセンスを 50 個購入されることをお勧めします。

## 同時接続と Mirage / Identity Manager (旧称 VMware Workspace™ Portal) / Fusion Pro

Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition は同時接続単位のライセンスで購入できますが、バンドル内の Mirage と Identity Manager の各コンポーネントは、指定ユーザー単位 (Mirage、Identity Manager) またはデバイス単位 (Mirage、Fusion Pro) でのみ利用できます。たとえば 400 人の従業員のうち 200 人が日中、200 人が夜間に出勤し、この従業員全員に View と Mirage へのアクセスを提供する場合、2 つの選択肢があります。Horizon Advanced Edition の CCU ライセンスを 200 個と VMware Mirage を 200 パック購入するか、Horizon Advanced Edition の CCU ライセンスを 400 個購入するかのいずれかです。多くの場合、前者のほうが高い費用対効果を見込めます。ただし、どちらを選択する場合でも、400 人の従業員用に Mirage のライセンスが 400 個必要になります。これは、同時に接続するのが 200 人であっても同じです。Identity Manager についても同様です。

**Q：各デバイスに適した Horizon クライアントの入手方法とその価格について教えてください**

A：各種デバイス向けの Horizon クライアントは、Horizon ソリューションの一部として含まれており、製品のダウンロード用ポータルから追加コストなしで入手できます。

- iOS 向け VMware Horizon Client は Apple iTunes Store からダウンロードできます。
- Android 向け VMware Horizon Client は Google Play Store からダウンロードできます。

**Q：VMware Horizon 100 Pack に含まれているのは、VMware vSphere のどのエディションですか。また、含まれるライセンス数はいくつですか**

A：Horizon のすべてのエディションには、vSphere Enterprise Plus Edition と同じ機能を持つ VMware vSphere Desktop が含まれています。vSphere Desktop は同時接続単位でライセンスが供与されるので、ライセンスを供与された同時接続数に必要な台数のホストを展開できます。

**Q：サードパーティ製または自社開発のコネクション ブローカーを所有していますが、VMware のインフラストラクチャ上にデスクトップを導入したいと考えています。この場合はどうしたらよいですか**

A：パワーオン状態のデスクトップ仮想マシン単位で vSphere Desktop をご購入いただけます。

**Q：Horizon 6 のライセンスで実行している vSphere ホストと、単体製品のライセンスで実行している vSphere ホストを混在させることはできますか**

A：ディザスタ リカバリ時に、VMware vSphere vMotion® によって、Horizon のライセンスで実行している vSphere ホストにサーバのワークロードがライブ マイグレーションされる可能性があります。これはエンド ユーザー使用許諾契約書の規定違反となるため、混在環境での使用は推奨されません。環境を完全に分離するか、混在環境を維持する場合は vSphere、vCenter Server、および Horizon の各ライセンスを単体で購入することをお勧めします。

**Q：アドオンは購入可能ですか**

A：はい。vSphere のライセンス数に余裕がある場合は、Horizon View Standard、Horizon Advanced、または Horizon Enterprise のアドオンをご購入いただけます。

**Q：Horizon (with View) に含まれている vSphere コンポーネントで、ほかのサーバワークロードを実行できますか**

A：Horizon に含まれる vSphere と vCenter Server の各コンポーネントは、デスクトップ環境での使用のみに限られています。デスクトップ仮想マシンは、次のオペレーティング システムを実行している仮想マシンと定義されています。Windows 95 / 98、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows Vista Ultimate、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、または Windows Server 2008 / 2012。仮想デスクトップ インフラストラクチャを構成するコンポーネントには、VMware View® Manager™、VMware vCenter Server™ (または別のコネクション ブローカー)、およびホストされるデスクトップ仮想マシンのみで使用される任意のデスクトップ管理ツール、パフォーマンス監視ツール、および自動化ツールがあります。

**Q：Horizon View Standard Edition と Horizon View Standard Add-on を同じ環境内で実行することはできますか**

A：Horizon には、End-to-End のデスクトップ環境に必要なすべてのコンポーネントが含まれており、ライセンスは同時接続単位で供与されます。Horizon View Standard Add-on SKU では、View Manager に含まれるデスクトップ コンポーネントのみが提供されます。購入した Horizon Add-on の同時接続単位のライセンスには、単体の vSphere ライセンスが必要で、Horizon に含まれる vSphere のエディション上への展開はできません。Horizon に含まれる vSphere Desktop は、購入した同時接続単位のライセンスに使用が制限されているためです。ライセンスの管理を容易にするには、バンドルまたはアドオンのいずれか一方を選択することをお勧めします。

**Q：** Horizon Add-on は、vSphere の任意のエディションで実行できますか

**A：** Horizon Add-on SKU のワークロードは、Horizon Standard、Horizon Advanced、および Horizon Enterprise の各エディションに含まれる vSphere Desktop を除く、vSphere の任意のエディションで実行できます。一度に実行されるデスクトップワークロード数に対応するために十分なホストがあることをご確認ください。Horizon Standard、Horizon Advanced、または Horizon Enterprise には vSphere Desktop が含まれるので、vSphere ライセンスを追加で購入する必要はありません。

**Q：** 所持しているライセンスが vSphere Desktop 用であるかどうかを確認する方法はありますか。また、そのライセンスはどのように付与されますか

**A：** Horizon に含まれる vSphere ライセンスは、クライアントとサーバのオペレーティング システムのデスクトップおよびアプリケーションのワークロード専用です。これを追跡および監査できるように、ライセンス ポータルには「vSphere Desktop」と表示されます。vSphere Desktop は、購入した Horizon の指定ユーザー数または同時接続数のライセンスが付与されます。

**Q：** Horizon 6 で Virtual SAN for Desktop のライセンスはどのように付与されますか

**A：** Virtual SAN は Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition の機能です。Virtual SAN は、購入した Horizon の指定ユーザー数または同時接続数のライセンスが付与されます。

**Q：** Horizon 6 で User Environment Manager (旧称: Immidio) のライセンスはどのように付与されますか

**A：** User Environment Manager のライセンスは、Horizon Enterprise で指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位で付与され、バンドル製品全体のライセンスに直接マッピングされます。同時接続設定で、契約したアクティブおよびパワーオン状態のセッション数の最大値を超えないようにする必要があります。Citrix 製品を使用しているお客様または物理およびクラウド ホスト型の環境管理が必要なお客様は、このサービスを単体製品としてもご購入いただけます。

**Q：** Horizon 6 で App Volumes (旧称: Cloud Volumes) のライセンスはどのように付与されますか

**A：** App Volumes のライセンスは、Horizon Enterprise で指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位で付与され、バンドル製品全体のライセンスに直接マッピングされます。同時接続設定で、契約したアクティブおよびパワーオン状態のセッション数の最大値を超えないようにする必要があります。また、Citrix 環境と合わせての使用をご希望の場合は、単体製品としてもご購入いただけます。

**Q：** Horizon 6 で Horizon for Linux のライセンスはどのように付与されますか

**A：** Horizon for Linux のライセンスは、指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位で付与され、バンドル製品全体のライセンスに直接マッピングされます。同時接続設定で、契約したアクティブおよびパワーオン状態のセッション数の最大値を超えないようにする必要があります。この機能は、Windows のセッションと Linux のセッションの両方を利用するユーザーのサポート向けに、Horizon Enterprise Edition でのみ提供されます。また、単体製品として、同時接続ユーザー単位でも利用することが可能です。

**Q：** Horizon 6 で VMware Mirage のライセンスはどのように付与されますか

**A：** Mirage は Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition に含まれる機能です。Mirage は、購入した Horizon の指定ユーザー数または同時接続数のライセンスが付与されます。ただし、Mirage を同時接続単位で使用することはできません。200 個のライセンスを購入した場合、ライセンスが指定ユーザー単位と同時接続単位のどちらであっても、Mirage のライセンスは指定ユーザー単位でのみ展開できます。展開すると、常にアクティブで、接続された状態が維持されます。

**Q：** Mirage を使用している場合、Horizon FLEX にアップグレードする方法はありますか

**A：** Horizon FLEX は、詳細なポリシー設定によって、個人所有デバイスを利用するユーザーや、オフラインの MacBook ユーザーおよび Windows ラップトップ ユーザーの統合管理をサポートするほか、また、エンド ユーザーにはローカルのコンピューティング リソースを提供する製品で、Mirage とは異なります。Mirage から Horizon FLEX にアップグレードすることはできません。

**Q：** Horizon 6 で ThinApp のライセンスはどのように付与されますか

**A：** VMware ThinApp を Horizon 6 の一部として購入した場合、指定ユーザー単位、デバイス単位、または同時接続単位でライセンスが付与されます。Horizon 6 に含まれる ThinApp クライアントのライセンスは、物理マシンまたは仮想マシンに展開できます。そのため、個別に購入した ThinApp ライセンスと、Horizon の一部として購入したライセンスは、区別なく使用できます。



Q：EVO:RAIL 用の Horizon ライセンスについて教えてください

A：VMware または VMware パートナーから、任意のエディションの Horizon のアドオンを購入して、EVO アプライアンスと組み合わせることができます。これらのアドオンは、Virtual SAN、vCenter Server、および vSphere には含まれていません。取り扱いのある EVO アプライアンス認定パートナーからこれらの SKU を購入いただくことも可能です。

Q：Horizon のユーザーが、Horizon Application Management Bundle を購入することはできますか

A：VMware Horizon Application Management™ Bundle には、VMware Identity Manager（旧称 Workspace Portal）と ThinApp、VMware App Volumes、VMware User Environment Manager、および VMware vRealize Operations for Published Applications が含まれており、vRealize Operations のこのバージョンは、Citrix XenApp 6.5 環境のみをサポートしています。このバンドルの購入を希望する Horizon のお客様は、購入いただくことはできませんが、バンドルに含まれている vRealize Operations のインスタンスは Horizon 環境をサポートしていないことにご注意ください。

Q：単体で購入できる製品を教えてください

A：Mirage、ThinApp、VMware Identity Manager（旧称 Workspace Portal）、App Volumes、User Environment Manager、vRealize Operations for Horizon、vSphere Desktop、Horizon for Linux、および Virtual SAN を単体製品としてご購入いただけます。

Q：Horizon Suite を使用している場合、Horizon Enterprise にアップグレードできますか

A：Horizon Enterprise Edition は Horizon Suite と同じ価格です。Horizon Suite 環境の拡張を検討されている場合は、アップグレードすることで、ホスト型アプリケーションや vRealize Automation 向けの Orchestrator プラグインを利用できるようになります。

Q：Mirage、App Volumes、User Environment Manager、または Identity Manager を使用している場合、Horizon Advanced または Horizon Enterprise にアップグレードできますか

A：はい、Horizon Advanced または Horizon Enterprise にアップグレードできます。

Q：ThinApp から Horizon 6 のエディションにアップグレードすることはできますか

A：はい、2 段階のプロセスでアップグレードできます。まず、Thin Client Suite または Horizon Add-on のいずれかにアップグレードしてから、Horizon View Standard Edition にアップグレードできます。

Q：無期限ライセンスを所有している場合、これらのライセンスをサブスクリプション ベースまたは期間ベースのライセンスに変換できますか

A：現時点では、このようなケースはサポートされていません。

## Horizon のサポート

Q：VMware Horizon (with View) で利用可能なテクニカルサポートについて教えてください

A：vSphere、vCenter Server、および View Manager を含む、Horizon の各エディションに含まれるすべてのコンポーネントには、1日12時間、週5日体制の Basic Support（ベーシックサポート）、または24時間365日体制の Production Support（プロダクションサポート）の購入が必要です。さらに、Production Support（プロダクションサポート）を補完する、Business Critical Support（ビジネスクリティカルサポート）を購入いただくことも可能です。Business Critical Support（ビジネスクリティカルサポート）では、お客様の Horizon インストール プロファイルを作成および維持し、定期的にアカウント レビューを実施する専用チームのサービスが提供されます。Horizon に関するコンサルティングや Horizon の導入時には、VMware のプロフェッショナル サービスもご利用いただけます。

詳細については、

<http://www.vmware.com/jp/support/horizon-view.html> をご覧ください。

Q：Horizon 6 を利用する際、VMware のサポート契約を購入する必要がありますか

A：Horizon のメリットを迅速に享受していただくため、エディションを問わず Horizon の購入時に、少なくとも1年間の VMware Basic Support（ベーシックサポート）およびサブスクリプションを購入いただく必要があります。Production Support（プロダクションサポート）にアップグレードしたあと、追加で Business Critical Support（ビジネスクリティカルサポート）を購入することもできます。VMware のすべてのサポートは、複数年契約が可能です。この場合は割引価格が適用されます。

Q：Desktop の提供終了（EOA）とライフサイクル管理についての情報はどこで入手できますか

A：VMware Enterprise Desktop の EOA とサポート ポリシーについては、

<https://www.vmware.com/jp/support/policies/enterprise-desktop/faqs.html> を参照してください。

## Horizon Air Desktops および Horizon Air Apps (旧称 Horizon DaaS)

Q：Horizon Air Desktops および Horizon Air Apps について教えてください

A：Horizon Air™ Desktops および Horizon Air Apps は、デスクトップやアプリケーションを、管理が容易な統合クラウドサービスとして、場所やデバイスを問わずに低コストで迅速に展開できるソリューションです。Horizon Air によって、エンドユーザーは、任意のデバイスやブラウザから、仮想デスクトップに安全にアクセスできるようになり、IT 部門は、既存のスキルやツールを使用して、環境を容易に管理できるようになります。信頼性に優れた VMware vSphere を基盤とする Horizon Air は、IT 部門が求める信頼性、セキュリティ、およびパフォーマンスを実現し、ビジネスに不可欠な VMware のサポートを提供します。Horizon Air Desktops および Horizon Air Apps の詳細については、  
<http://www.vmware.com/jp/products/horizon-air-desktops> を参照してください。

## Horizon FLEX

Q：Horizon FLEX について教えてください

A：VMware Horizon FLEX は、Horizon の製品群を補完するソリューションです。データがローカルに保存されるため、エンドユーザーはオフラインや移動中でも作業できる点が特徴です。バンドル製品になっており、FLEX ポリシー サーバ、FLEX クライアント (Mac 用に Fusion Pro、PC 用に Player Pro)、およびイメージ管理機能が含まれます。Horizon FLEX の一般的な使用例として、個人所有の PC を持ち込む場合や、仮想デスクトップ インフラストラクチャの導入が現実的ではない環境でのオフライン作業、臨時社員や契約社員による使用、開発環境やトレーニング環境、地域オフィスなどでの使用が考えられます。